様式第３号

事務事業評価表（平成２６年度）

事業コード	746	課コード	0604	会計種別	公共下水道事業特別会計	予算の種類	■政策　□経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業		実施計画への位置づけ	●有　○無
		個別事業	布佐ポンプ場築造事業		②部課名：建設部・治水課
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　■布佐　□全市
	⑤事業期間	平成２５年度　～　平成２８年度		⑥担当職員数	9 人　（換算人数　1.35 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	4,030,000 千円	当該(開始)年度	（当　初）1,341,092 千円　（うち人件費　12,555 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード：62401	重点プロジェクトへの位置づけ：重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	●有　○無　／　部門別計画への位置づけ（計画名）：都市排水施設の整備
(2)目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害の発生を防止するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。		事業目的	布佐地区で頻繁に発生する浸水被害を軽減させる。
(3)事業内容	内　容	布佐地区では、放流先である手賀川水位の影響により、内水が円滑に排除されず、一部の低地部において、長年に渡り常襲的な浸水被害が発生している。このことから、浸水被害対策として内水を強制排水する布佐ポンプ場を排水区最下流部となる布佐樋管付近に築造する。		当該年度執行計画	雨水ポンプ場築造工事（機械・電気）（２年目）
				当該年度活動結果指標	雨水ポンプ場築造工事（機械・電気）の進捗率　単位：％　想定値：100　実績値：

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該(開始)年度	雨水ポンプ場築造工事を行う。	直接	雨水ポンプ場築造工事の進捗率	%	0	100
３年後	雨水ポンプ場の築造を完了し、雨水幹線整備の基本方針を検討、決定する。	直接	雨水ポンプ場築造工事の進捗率	%	0	100
最終(概ね５年後)	雨水ポンプ場の築造を完了し、５年確率降雨に対応する事業を実施することで、浸水被害を軽減させる。	直接	雨水ポンプ場築造工事の進捗率	%	0	100

(7)事業実施上の課題と対応	代替案検討
布佐排水区は、布佐ポンプ場が完成しても幹線を整備しなければ水害対策が完了したことにならないことから幹線を早期に整備するが必要がある。	○有　●無

(8)施行事項

	平成２５年度		平成２６年度			平成２７年度		平成２８年度	
	政策 内容	金額(千円)	政策 内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策 内容	金額(千円)	政策 内容	金額(千円)
実施内容 費用	＊ 工事(機械・電気)（継続１年目）	425,920	＊ 委託工事(機械・電気)(継続２年目)	1,018,010		＊ 道路復旧工事	12,000	＊ 雨水幹線実施設計	20,000
	＊ 附帯工事(場内施設等)	12,000	＊ 附帯工事（外構・駐車場他）	30,000		＊ 雨水幹線基本設計	9,000	＊ 現況測量	4,000
	＊ 家屋事後調査業務委託	1,300	＊ 家屋補償費算定・補償交渉業務委託	3,500		＊ 下水道事業計画変更業務	7,000	＊ 地質調査	2,000
	＊ 特別調査業務委託	6,000	＊ 家屋補償費	7,000					
	＊ 傾斜計設置工事（繰越）	6,300	＊ 雨水幹線基礎調査業務委託	12,000					
	＊ 土木・建築工事（繰越）	398,239	＊ 委託工事(機械・電気):1年目逓次繰越	236,720					
	＊ 重点施工管理委託その2(繰越)	5,124	＊ 家屋事後調査:繰越明許	1,307					
	＊ 付帯工事（繰越）	11,981	＊ 附帯工事(土木建築):繰越明許	20,000					
予算(済)額	合　計	866,864	合　計	1,328,537		合　計	28,000	合　計	26,000

(9)財源内訳

	平成２５年度	平成２６年度		平成２７年度	平成２８年度
国庫支出金	補助率 50 %	412,000	補助率 50 %	617,360		補助率 0 %	0	補助率 50 %	13,000
県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
起債	充当率 100 %	412,000	充当率 100 %	617,300		充当率 0 %	0	充当率 100 %	13,000
一般財源		0		0			0		0
その他の財源	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他	42,864	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他	93,877		■特会 □受益 □債務 □基金 □その他	28,000	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0

(10)人件費等

	平成２５年度	平成２６年度		平成２７年度	平成２８年度
換算人数(人)	1.2	1.35		1	1
正職員人件費	11,160	12,555		9,300	9,300
嘱託職員報酬額	0	0		0	0
臨時職員賃金額	0	0		0	0
事業費(予算(済)額＋正職員人件費)	878,024	1,341,092		37,300	35,300
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）	17,560.48千円／％	13,410.92千円／％			

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目	事　前　評　価	事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討
必要性 (1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	近年、布佐地区は、東京へのベットタウンとして、その有利な地理的状況から急激に宅地開発が行われ都市化が進んだ。しかしながら、その一方では、道路や屋根などの不浸透面積の増加に伴い雨水流出量が増大し、都市型水害の頻発地区となっている。この水害は、布佐駅東側市街地の地盤高が放流先の手賀川灌漑期水位より低いことから、降雨時に手賀川水位の影響を受け、自然排水による内水排除が不可能となり発生する浸水被害である。したがって、内水を手賀川へ排除するためには、強制排水が必要条件であり、手賀川水位に影響されないように常時速やかに内水を排除し、頻発する浸水被害軽減を目的とした雨水ポンプ場を建設する。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞	○要 ○不要
(2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ＜その他の内容＞ ○②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 ＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ＜その他の内容＞	○要 ○不要
参加・協働の工夫 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容： ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 工夫の具体的な内容： ＜その他の内容＞ 該当なし	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）： 参加・協働の程度・内容： ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点： □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 取組む内容： ＜その他の内容＞ 該当なし	実施した具体的な内容： 環境への配慮： ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
効率性 (1)目標設定は適切か？	現況値(a)(%)：0 目標値(b)(%)：100 目標値の妥当性のチェック： ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況： 実績値(f)(%)： 達成率(%)(f/b×100)： ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要
(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減： 事業費(c)(千円)：1,341,092 事業費削減額(d)(千円)：△463,068 事業費削減率(%)：△52.74 実施予定の対策： ■①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 ＜削減の内容＞	実施状況： 実績値(g)(千円)： 対事業費(%)(g/c)×100： ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞ 事業費の削減対策について： ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)：7.46　単位：％　費用単位：1億円 計算方法： ○①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ●②複数年度の指標：(目標値－現況値)×費用単位／事業費	達成状況： 実績値(h)： 対目標値(%)(h/e)×100： ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向